市民の意見

発行：市民の意見30の会・東京

NO.167

2018/4/1

【毎偶数月１日発行】

発行者の住所：〒108-0073 東京都港区三田3-4-17-206　TEL:03-6435-2030　FAX:03-6435-2031

代表：野澤信一　　eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp　　ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30

＊隔月刊/購読料・送料とも年2500円、一部400円、協力会費年5000円、敬老・障がい者会費年2000円、グリーン会費年1000円

郵便振替：00120-9-359506

坂本康男
「水辺残照」

康男は
家庭の事情から
美校には入れなかった。
中学をでて
すぐに海軍の工場に就職した。
そろそろ長崎の町に
兵隊の数が多くなり
軍靴が高まる頃だったが、
いつも考えていることは
絵のことばかりだった
早く世の中に平和がもどって
好きな絵を描きたいと思った。
そして、二十二歳で

初めて独立展に入選したとき
あゝこれで念願の画家になれる、
絵を描いて生きてゆける。
康男は心の中でさけんだが
同じ年に出征し、
復員してきたときには
結核のため
無理できぬ身体になっていた。
愛する妻に励まされつゝ、
必死に描いた
一枚の
静かな、静かな
水辺の絵だけが遺った。

窪島誠一郎編『無言館を訪ねて　戦没画学生「祈りの絵」第Ⅱ集』（講談社）より

市民の意見　167号　目次

◆巻頭詩　詩集「いずも」より　笹本征男　2

■特集1　未来の社会へ向けて

リアリズムとしての軍備放棄　足立力也　4

「ベーシック・インカム」の視点から日本社会を見る　池住義憲　7

■特集2　「富国強兵策」を問う

ウトロに見る、この国の瑕疵　室田元美　10

社史から読み解く「軍需産業総力戦体制」　北宏一朗　12

●元号をやめて西暦にしませんか　小澤俊夫　15

●済州四三事件
―闘いと悲劇、そして再び闘いと和解へ　呉　光現　16

●トランプ政権の新核戦略と東アジアの平和について
―戦後の歴史から考える　丸川哲史　18

●ある戦場の記憶　田中洋一　20

■運動の現場から

派遣労働者の実態　渡辺照子　22

国連で問われる「日の丸・君が代」の強制措置　渡辺厚子　24

東海第二原発を動かすな！
首都圏の原発を止めよう　柳田　真　26

安倍政権はなぜ生活保護費を下げ続けるのか　吉田和雄　27

■文化

連続エッセイ⑭「S君のこと」　鈴木一誌　28

映画の紹介　「旅路の果て」　本野義雄　29

本の紹介　『近代日本一五〇年』　細井明美　30

まんが　ふしぎの国のありか⑭　まつだたえこ　35

■情報

集会のお知らせ　31

事務局だより　32

市民意見広告運動　33

読者のおたより　34

会計報告　32

編集後記　36

◆題字　安西賢誠

◆印刷・レイアウト　（有）山猫印刷所